

加東市監査委員公表第10号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定に基づき実施した令和2年度定期監査（10月期）の結果について、同条第9項の規定により、ここに公表する。

令和2年11月25日

加東市監査委員 高 橋 優
加東市監査委員 小 西 勝 之
加東市監査委員 壺 井 弘 次

令和2年度定期監査（10月期）結果及び意見

総括

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定に基づき、令和2年10月26日において、令和2年度10月期（令和2年4月1日から令和2年9月30日まで）における、加東みらいこども園、社小学校の事務事業の執行について、同法第2条第14項及び第15項の規定する趣旨により合理的かつ適正に運営されているかに留意し、監査を実施した。

今回の監査は、特に次の6点に重点をおいた。

- (1) 事務事業が計画的に進められているかどうか。
- (2) 事務事業が常に住民福祉の向上を目指して進められているかどうか。
- (3) 人的配置は、適正に行われているかどうか。
- (4) 施設使用許可及び使用料徴収事務は、適切に行われているかどうか。
- (5) 教材費等の徴収事務は、適正に行われているかどうか。
- (6) 備品管理は、適正に行われているかどうか。

この結果、事務事業の執行については適正に処理され、令和2年度10月期においては所期の成果を上げている。

以下、対象所管ごとに記述するが、口頭による指導事項、平素の事務処理の状況等、特に記述すべき必要がないものについては省略する。

【加東みらいこども園（こども教育課）】

1 監査の結果

平成31年4月1日に公立の幼保連携型認定こども園として開園した加東みらいこども園は、「心身共にたくましい人間力の基礎作り」を教育・保育理念に、自然の地形を活かしながら成長過程に応じた園庭を配置することで、子どもの自発的な行動を促し、自然の中での発見や体験を通して豊かな感性と生きる力を育てている。

本園の定員は250人であり、令和2年9月1日現在における在籍児童数は次のとおりである。

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
1号認定子ども	—	—	0	9	18	11	38
2、3号認定子ども	13	24	33	40	41	46	197
合計	13	24	33	49	59	57	235

職員は、正規職員14名、再任用職員1名、フルタイム会計年度任用職員19名、パートタイム会計年度任用職員17名の合計51名である。

特別保育事業として、延長保育、一時預かり及び休日保育事業を行っており、当該事業に係る利用申込書等の書類を確認したところ、適正に事務処理されていた。また、利用料等の預かった現金は、即日又は翌日に会計課へ入金していると説明があり、市財務規則に従い適正に事務処理されていた。

工事請負、業務委託及び備品購入について、関係書類を確認したところ、適正に処理されていた。

2 意見

職員数について、在籍児童数に対して適正な人員配置となっているものの、保育士不足により在籍児童数が定員である 250 人に達していないため、保育士の確保に努めることで、適切な受け皿になるよう対策を講じていただきたい。

遊戯室の備品の一部を抽出し、現物と備品台帳の突合を行った。他部署からの移動備品については、台帳に移動日を記載するとともに、新規購入した備品の購入価格については総額を記載するのではなく、単価を記載するなど、備品台帳を整理していただきたい。併せて、再整理する中で、単価が 1 万円以下となったものについては備品として管理せずに台帳から削除することも全庁的に検討いただきたい。

コロナ禍においても、伝統行事をはじめとする各種行事を中止するのではなく、実施方法や感染症対策を講じた上で実施していることを評価したい。

未就園児を対象とした子育てひろば「くねあ」は、保護者のみではなく保育士が関わり自身の経験からアドバイスを行うことで、育児中の保護者への子育て支援につながるため、今後も事業を充実させていただきたい。

【社小学校（教育総務課）】

1 監査の結果

社小学校は、「つながりを大切にし、学習や生活を高め合う子の育成」を学校教育目標として教育活動を展開している。

全児童数は、令和 2 年 9 月末現在、男 304 名、女 268 名の合計 572 名である。学級数は各学年 3 学級と特別支援学級 4 学級の合計 22 学級である。

職員は、校長、教頭及び教諭等、合計 52 名である。

学校施設（体育館、運動場）の使用関係書類を確認したところ、使用申請、許可及び減免申請の手続について、適正に事務処理されていた。

2 意見

学校徴収金の管理については、現金出納簿、通帳及び領収書を学年ごとに整理し管理している。このうち 2 学年分の管理状況を確認したところ、概ね適正

に管理されていたが、教員が4か月以上立替えていたものなどが見受けられたため、速やかに処理するよう努めていただきたい。今後とも学校園徴収金等取扱マニュアルに従い、適正な管理に努めていただきたい。

第1理科室の備品の一部を抽出し、現物と備品台帳の突合を行ったところ、適正に管理されていた。備品台帳の中で、パイプイス等まとめて購入したもののうち、単価が1万円以下のものについては備品として管理せずに台帳から削除することも全庁的に検討いただきたい。

今年度から小学校における英語授業が必修化となり、英語学習に取り組んでいる。英語に対して苦手意識を持たない児童を育成するためにも、ALT や英語サポーターの力を借りながら、英語に親しみを持てるような授業づくりに取り組んでいただきたい。

昨今、教育現場における積極的なICTの活用が推進されており、現在タブレットパソコンが児童1人につき1台配置されている。これらの機器を積極的に活用していただくとともに、研修等を通じてICT機器に精通する教員の育成及びスキルアップにもご尽力いただきたい。

本校における長期欠席者は4名（うち不登校4名）となっている。不登校の原因はそれぞれ違い、様々なケースがあると思われるが、登校をためらう子どもたちに丁寧に手を差し伸べ、解決へとつながるよう努めていただきたい。

本校は児童数及び教員数ともに多く、課題もあるかと思われるが、令和6年度に開校予定の社地域小中一貫校も視野に入れ、今後も教育目標に掲げているつながりを大切にしながら教育活動に取り組んでいただきたい。また、教員の人間関係や職場環境にも十分配慮いただきたい。